

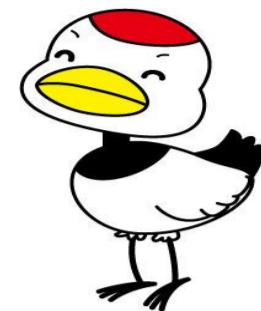
学校経営理念



「みんなが楽しい鶴指小」

学校教育目標

自主・自律・共生



◆目指す子どもの姿



自 主

- 自分で考え、判断し、行動できる子ども
- 自分の行動に責任を持つ子ども



自 律

- 自分で決めたことを、自分で守れる子ども
- 自分の心や行動を自分でコントロールできる子ども



共 生

- 他者との違いを受け入れることのできる子ども
- 他者と協働することができる子ども

◆目指す学校の姿

- すべての子どもに居場所がある学校

学校は、子どもの「自己肯定感」を育てる場所
「自分も捨てたものでない」「自分にも何かできることがある」という気持ちを持たせる場所

- 地域とともに歩む開かれた学校

◆目指す教職員の姿

- すべての子どもと繋がることができる教職員
- 子どもを主役にできる教職員
- 他者と協働することのできる教職員



教職員の基本姿勢

★子どもを一人の人間として尊重する。教職員が教える人で上、子どもが教わる人で下ではない。大人にしないことは、子どもにも絶対にしない。

★でも、子どもはできないもの、失敗するもの、大人の言うことをきかないものということを心に留める。「ダメ」と思わない。大人だってできなかったり、失敗したりする。

★6年間を通して育てる。その学年だけで完成させようとしてはならない。そうすると無理が出る。

★全教職員で育てる。もし上手くいかなくてもそのクラス、その担任だけの責任ではない。全ての教職員が一人の子どもの成長に責任を持つ。

★まずは教師が子どもと繋がる。クラスを整えること、子ども同士の繋がりはその後。
子どもの心の安全・安心 → 外発的動機付け → 内発的動機付け

★学校の当たり前を見直す。学校運営理念・学校教育目標を最上位目標として「目的」は何かを常に振り返り軌道修正、スクラップ&ビルトする。→行事、ルール、宿題、職員の事務仕事 等

★プロとしての気概を持つ。「学びの専門家」として、子どもを主役にするために同僚と学び続ける。

